





宿題・Dictationのやり方

- ①宿題はやって頂きたいが強制ではない。宿題を強制的 にやらせる事により英語が嫌いになる事は避けたい。
- ②宿題は「予習型」です。Lesson映像は見る回数が多ければ「音」を覚えてしまうので、最高です。

なぞり宿題のめやすは「当月Unitの」 月3回授業であれば各ページ3分の1づつ、月4回授業であれば4分の1づつ (大体でOK)、

なぞる部分のみ「映像を見ながら、言いながら」 スピードが速いので「一旦停止」を利用して行う。

③授業内ではDictationと称し、各ページ、1~3問づつを講師がピックし何度か「親がひらかなを教えるイメージで寄り添うように発音し」

赤の部分に1回書きます。(ねらいは「文章を書くという経験を神経的に残す事」です。テストではありません)

- ④Substitutionの部分(Red·Purpleクラス)は4段階の構成になっています。
- 1週目は1-Yes 2週目は2-No 3週目は3-Yes/No 4週目は4-Yes/No Combinedなので「予習」としてやってきてください。
- ⑤左記の赤い四角を授業内で、青い四角を宿題で行います。

★①教材 …映像を見ながら通しで最低週7回は聞く

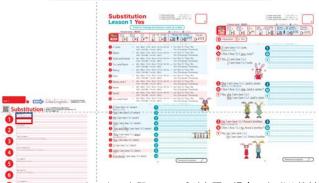
音のみの場合 聞きながら 教材を開き、指で指しながら (文字や絵を目で追いながら) 自分も声に出して真似ながら

★②なぞり教材 (Dictation教材)

映像を見ながら なぞりの部分のみ 自分も声に出しながら 予習として「なぞってくる」 予習として行い、

めやすはすべてのカテゴリーの 1/3程度で良い。

★③板書教材 … Purpleレベルからは文法の説明を用意 必ず予習としてみてくること Subsutitutionの説明もあり



Purpleテキスト、上記のページが宿題の場合、なぞり教材 (Dictation教材) は左のページ (数字の上に1-Yesと記載 してある範囲すべて) が宿題になります。